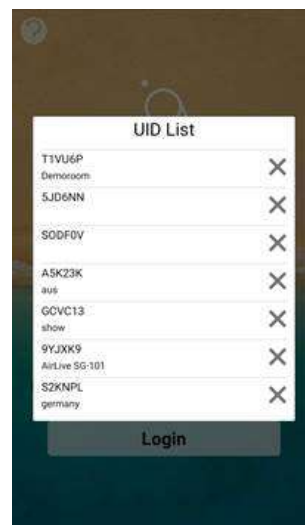


## FAQ / よくある質問

1. スマートフォンから 2、3つのゲートウェイを管理することができますか？
2. ゲートウェイの認証番号
3. 言語変更
4. 通知が来なくなりました
5. カメラのスクリーンショット送信設定
6. タイマーと間隔の使い方
7. トリガーされたラグ（遅延）時間の設定
8. Amazon Alexa や Google Assistant で管理できますか？

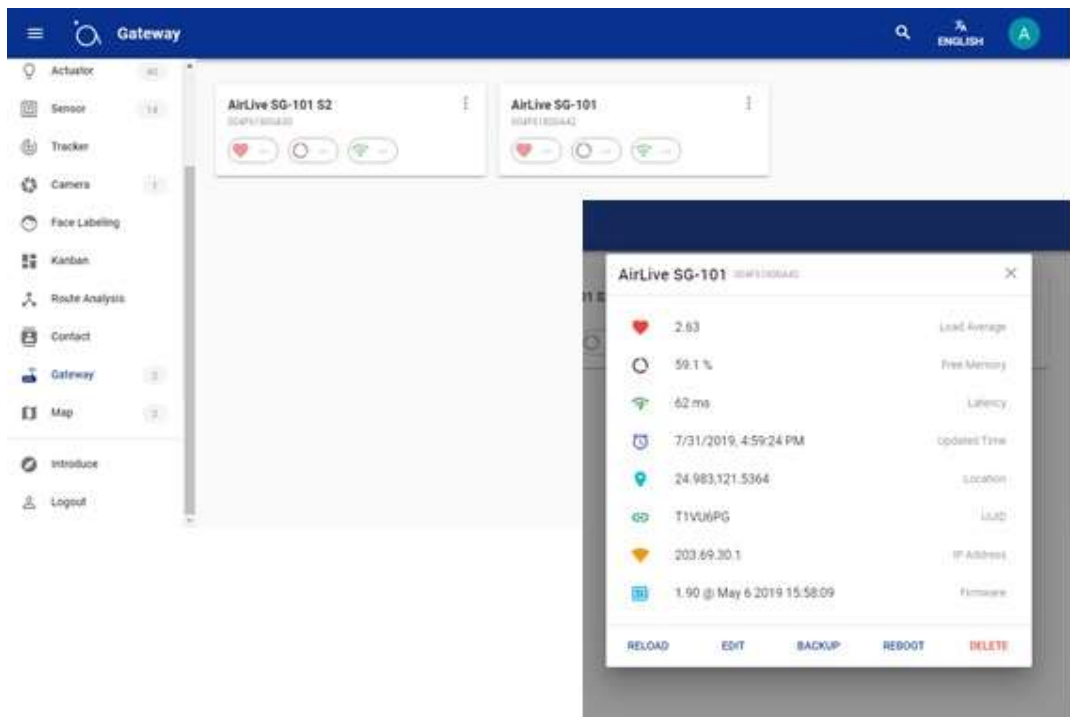
### 1. 携帯アプリから 2 つのゲートウェイを管理することができますか？

ログイン画面の AirLive アイコンを押すと、今までアプリにログインしたアカウントが全部表示されます。アカウントを切り替えて管理することができます。



ゲートウェイは、20 台も登録することができます。アプリは今までログインしたゲートウェイの状況を知らせますが、ログインしたゲートウェイが多すぎると、お知らせは混雑になる可能性がありますので、ご注意ください。

もし複数のゲートウェイを管理する必要であれば、AirLive Cloud というソフトをご利用ください。下記のとおり、AirLive Cloud でゲートウェイを管理すると、もっと便利で見やすくなります。さらに、ログインしたゲートウェイはマップに表示されることを設定できます。



## 2. ゲートウェイの認証番号

AirLive ゲートウェイの認証番号をアプリの「その他の設定」で確認することができます。「設定」ページの「その他の設定」を選択して、「認証番号を」クリックしてください。6 文字の認証コードが表示されます。



「認証番号」ボタンが表示されない場合は、その上にある「クラウド連携」というボタンをクリックして、プライバシーポリシーの“I agree” (同意) というチェックボックスにチェックを入れてください

い。



認証番号ボタンが表示され、認証番号を確認できるようになります。

### 3. 言語変更

Android の場合、アプリの右下にある [設定] アイコンをクリックして、[App Information] アイコンをクリックします。グローバルアイコンをクリックすると言語が選択できます。ご希望の言語を選んでください。

iOS の場合、アプリの言語はシステムと一緒にです。もし携帯の言語は英語だったら、アプリは英語のみで表示されます。システムの言語を日本語に設定すると、アプリの言語も日本語になります。

### 4. 通知が来なくなった場合

もし各センサーの通知の設定には変更がなかった場合、携帯電話の設定から通知管理をご確認ください。携帯によって設定が異なると思いますが、特定のアプリの通知を表示・非常時にする設定があります。

もし携帯の通知設定には異常がなかった場合、各センサーの通知を手動で設定する方法もあります：

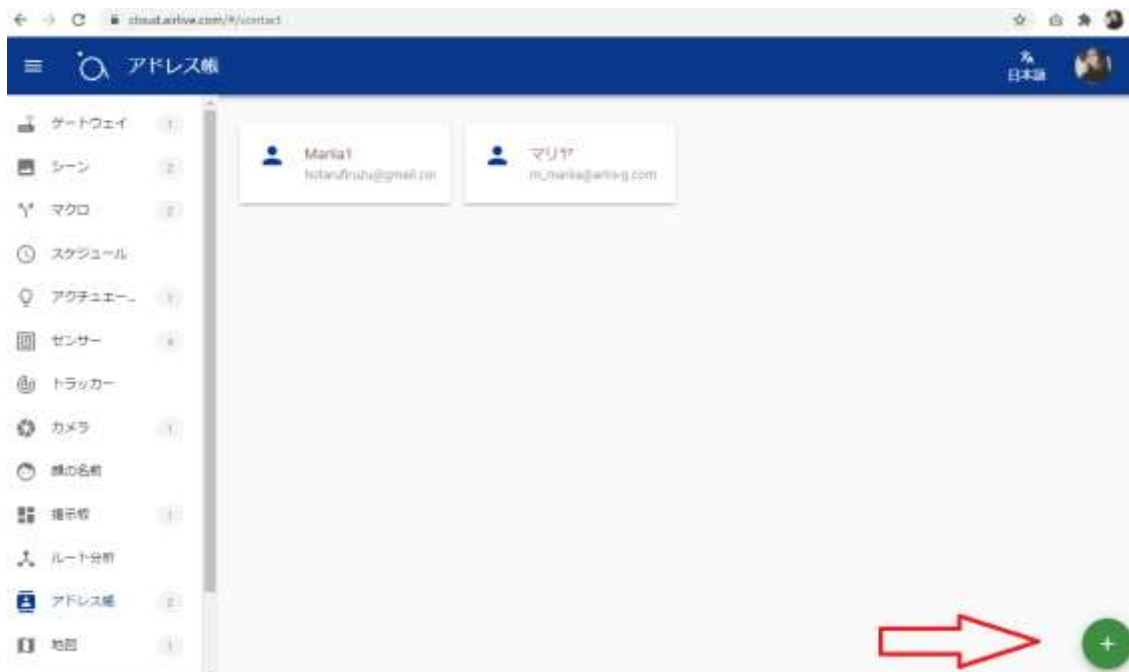
アプリの「レシピ」設定から「ドア/窓が開いたら、通知が送信される」などのレシピを設定することができます。下記のスクリーンショットをご覧ください。



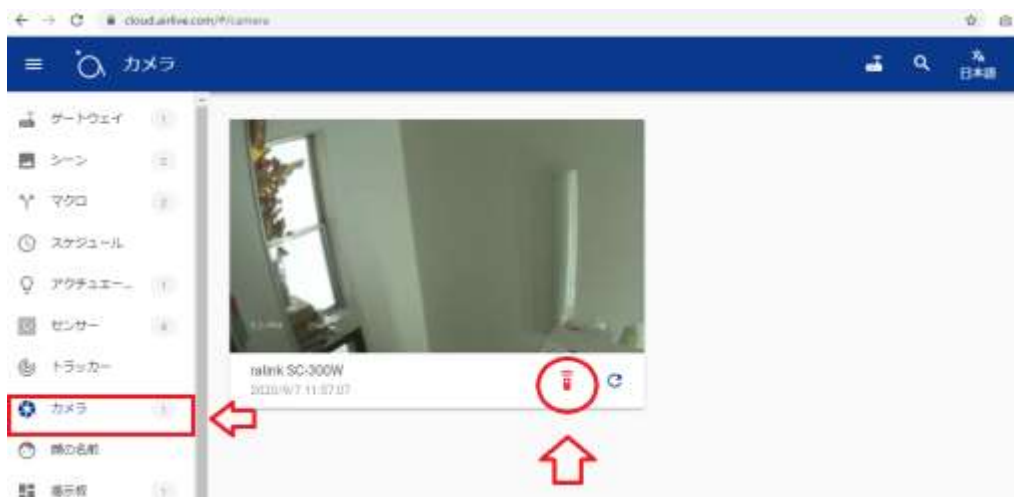
## 5. カメラのスクリーンショット送信設定

AirLive Cloud にログインします。アドレス帳をクリックして、メールアドレスを登録します。





カメラのページでは、トリガーの設定ボタンをクリックします。



ドアセンサー／モーションセンサー／スイッチ（スマートプラグ）の3つのトリガーから選択することができます。例えば、もしモーションセンサーが反応したら、カメラのスクリーンショットがメールに送信されます。



送信先のメールアドレスもアドレス帳に登録してあるアドレスから選択することができます。



※ アドレス帳とメール送信機能は、アプリでは設定することができません。お手数ですが、AirLive Cloud ソフトをご利用ください。

※ カメラのスクリーンショット送信は設定できますが、各センサーからの情報の送信は設定できません。設定可能なのは、マクロ（レシピ）の通知の送信です。

※ メールの件名や本文で変更可能なのは、マクロ（レシピ）やデバイスの名前だけです。マクロの名前が件名に、ゲートウェイの名前が本文に表示されます。カメラの場合は、カメラの名前ではなくて、"Snapshot"になります。

## 6. タイマーと間隔の使い方

A: タイマーおよび間隔機能は、シーンとレシピ機能の「THEN」（それで）設定の一つです。

タイマー機能は、デバイス1/デバイス2、またはデバイス2/デバイス3のアクティベーション時間の間に遅延を追加します。間隔機能は、作成されたシーン/レシピ内のすべてのデバイス間に固定遅延を追加します。複数のデバイスをオンにするシーン/レシピに使用できます。

タイマーの例：レシピ：IF（もし）PIRセンサーがトリガーされたら THEN（それで）スマートプラグがONになります > タイマー > スマートプラグ 2 ON

タイマーの例：シーン：スマートプラグ ON > タイマー > スマートプラグ 2 ON

間隔の例：レシピ：IF（もし）PIRセンサーがトリガーされたら THEN（それで）間隔 > スマートプラグON, スマートプラグ 2 ON

間隔の例：シーン： 間隔 > スマートプラグON, スマートプラグ 2 ON

追加方法：

タイマー： アクティベーション時間を遅らせるためにデバイス間に追加できます。

例：デバイス1 → タイマー（0.1秒） → デバイス2 → タイマー（0.5秒） → デバイス3 → など

間隔：全デバイスのアクティベーション間隔は、シーン/レシピの上部に追加できます

例：間隔1（100ミリ秒） → デバイス1 → 100ミリ秒 → デバイス2 → 100ミリ秒 → デバイス3 → など

シーン



## レシピ



1. 設定したいセンサーを選択します
2. [設定]をクリックして、[設定]のメニューに入ります
3. 1 番目のスペースに「8」を入力します（PIR ReDetect Interval Time のプログラムを起動する）。
4. 2 番目のスペースは、ラグ（遅延）時間の設定です（デフォルト値は 8 秒ですが、1~127 まで入力でき、延長時間は 8 の倍数で延長されます。例え："2"を入力すると、 $8 * 2 = 16$ 、時間を 16 秒に延長する）。
5. 3 番目のスペースに「1」を入力してください。





## 7.2. 二つ以上のセンサーがトリガーされた場合

両方のセンサーに同じアラーム音が設定してある場合、アラーム音が一緒になります。

センサーに異なるアラーム音が設定してある場合、アラームは混在します。現在「トリガーされた順番によって鳴る」設定はありません。PUSH 通知の情報を確認することをお勧めします。

## 8. Amazon Alexa や Google Assistant で管理できますか？

AirLive 製品は Amazon と Google の音声アシスタントに対応していますが、SK-101, SK-102, SK-103, SK-104 セットに入っている製品はほとんどセンサーで防犯グッズなので、音声アシスタントで管理できるデバイスは、スマートプラグしかありません。

メーカーから単品で他の製品（エアコン管理、スマート電球など）を追加注文できますが、国によって異なる電圧値のせいで、日本にはまだ導入していない場合もあります。